

# 予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会]

1 日 時 令和3年9月27日（月曜日）

開 会 午後 1時09分

閉 会 午後 1時20分

2 場 所 議 場

3 出席委員 37人

委員長 金 厚 有 豊

副委員長 佐 藤 則 寿

委 員 金 岡 貴 裕

// 藤 田 克 樹

// 柏 佳 枝

// 飯 山 勝 彦

// 織 田 伸 一

// 澤 田 和 秀

// 高 原 讓

// 田 辺 裕 三

// 豊 岡 達 郎

// 吉 田 修

// 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

委 員	泉	英	之
//	岡 部		享
//	竹 田		勝
//	上 野		蚩
//	舎 川	智	也
//	押 田	大	祐
//	江 西	照	康
//	高 田	真	里
//	東		篤
//	大 島		満
//	谷 口	寿	一
//	成 田	光	雄
//	松 尾		茂
//	尾 上	一	彦
//	橋 本	雅	雄
//	松 井	桂	将
//	横 野		昭
//	村 石		篤
//	鋪 田	博	紀
//	高 田	重	信
//	赤 星	ゆかり	
//	柞 山	数	男

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長 高 道 秋 彦

## 6 職務のために出席した者

### 【議会事務局】

議事調査課長	野嶽	誠司
議事調査課長代理	中山	崇
議事調査課議事係長	酒井	優
議事調査課主査	熊谷	法子
議事調査課主事	北山	栞

## 7 会議の概要

委員長           ただいまから、予算決算委員会を開きます。  
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。  
これより、各分科会長の報告を求めます。  
まず、高田総務文教分科会長。

総務文教分科会長   総務文教分科会での審査につきまして、御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
議案第168号中、教育委員会所管分の文化財保護事業費について、次のような意見の表明がありました。  
まず、反対意見について申し上げます。  
民俗民芸村周辺で発見された巨大空洞は、太平洋戦争末期の工場疎開のために造られたと思われる、貴重な戦争遺跡、戦争遺構の1つである。  
埋めた後は、もう取り返しがつかなくなることから、巨大空洞を今急いで埋めるのではなく、崩落防止の安全対策を十分に行った上で、周辺のほかの巨大空洞とも併せて、十分な調査を行ってほしい。

実際の遺跡、遺構はよい教材にもなると考えており、今後、保存、活用していくべきであるという観点からの反対意見がありました。次に、賛成意見について申し上げます。この事業については、篁牛人記念美術館東側のり面保護工事を実施することが第一の目的であり、この地域や美術館の安心・安全を守ることになる。のり面保護工事が遅れば、それだけ危険性が強まることとなる。巨大空洞を埋める工事の前に、この空洞が貴重なものなのかを調査されるということなので、残念ではあるが、この地域の安全を考えた場合には、工事の実施は妥当なものであるという観点からの賛成意見がありました。以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長           ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
                    質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長           質疑なしと認めます。  
                    次に、成田厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件4件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第168号中、こども家庭部所管分のようこそ赤ちゃん特別支援金給付事業について申し上げます。

委員から、支給額について、新生児1人につき5万円としているが、その根拠は何なのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らすため、例えば、新生児が誕生してからの健診などの際に、公共交通機関ではなくタクシーを使用されるという話を聞いております。そのようなコロナ禍で増加すると思われる様々な経費を考慮し、5万円といたしましたとの答弁がありました。

また、委員から、新型コロナウイルス感染症に関しては、今年度中に終息するということは考えられないが、この事業は単年度で終わらせる予定なのかとの質問がありました。

これに対し当局から、事業を単年度とするかどうかについては、今後、国の動向や、新型コロナウイルス感染症の収束具合を見極めながら検討したいと考えていますとの答弁があ

りました。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、押田経済環境分科会長。

経済環境分科会長 経済環境分科会での審査につきまして御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件4件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
初めに、議案第168号中、環境部所管分のSDGs推進事業費について申し上げます。  
委員から、公共施設における再生可能エネルギー設備等導入可能性調査は、優先順位の高い施設を選定することのことだが、優先順位はどのように決定するのかとの質問がありました。  
これに対し当局から、まずは、太陽光発電な

どを想定し、ある程度の稼働期間の確保が重要になると考えております。

また、強度や設置面積など、トータルで費用対効果の高いものから順番に進めたいと考えておりますとの答弁がありました。

次に、議案第168号中、商工労働部所管分の教育旅行誘致推進事業について申し上げます。

委員から、本市でSDGsについて学習する際の行き先としては、どのようなところを考えているのかとの質問がありました。

これに対し当局から、昨年度から本事業を実施しており、候補として12施設を挙げております。

その中では、例えば「富山市のコンパクトシティ政策を学ぶ」として、ライトレールを用いた富山市のまちづくりの学習や、エコタウン交流センター等でのリサイクルについての学習などがありますとの答弁がありました。

また、別の委員から、この事業について問合せが多いとのことだが、市としてPRなどは行っているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、昨年度の事業の中で、学校へのアンケート調査の実施や、旅行会社等に教育旅行のパンフレットを送付しております。



また、教育旅行の商談会等への参加などを通して、誘致につなげていきたいと考えておりますとの答弁がありました。

次に、同じく議案第168号中、農林水産部所管分の海岸漂着物処理事業について申し上げます。

委員から、漁業者等が自主的に回収されるごみには、どういったものがあるのか。また、本年度だけではなく、毎年実施する予定なのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、例えば、定置網にごみが流入することがあるので、そのごみを漁業者が自主的に回収して漁港まで運んできた後に、市が処分することで、今後は少しでも多くの漂流ごみ等を回収してまいりたいと考えております。

また、本事業については、来年度以降も実施していきたいと考えておりますとの答弁がありました。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。  
次に、竹田建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして御報告いたします。  
当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。  
以下、審査の概要を申し上げます。  
議案第168号中、建設部所管分の浸水対策事業費について申し上げます。  
委員から、浸水被害の原因について委託して調査することだが、建設部の技術職員が調査することはできないのかとの質問がありました。  
これに対し、当局から、浸水被害が報告されるようになった平成26年度頃から職員が現地において水路の勾配や水の流れなど様々な調査を行いました。原因は判明しませんでした。  
今回の業務委託において、測量を含めた調査を地区全体で行い、原因を究明したいと考えておりますとの答弁がありました。  
以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長           ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。  
質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長           質疑なしと認めます。  
以上で、質疑は終結いたしました。  
これより、議案第168号を起立により、採決いたします。  
本案件は、原案のとおり決することに、賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長           起立多数であります。  
よって、本案件は、原案可決されました。  
次に、議案第169号から議案第174号まで、以上6件を一括して、採決いたします。  
各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長           御異議なしと認めます。  
よって、各案件は原案可決されました。

これで、９月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和３年９月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和3年9月定例会  
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 金 厚 有 豊

署名委員 豊 岡 達 郎

署名委員 吉 田 修